

吹上地域包括支援センター 担当

日 時： 令和8年2月17日（火）午後1時55分～2時25分

会 場： 栃木市役所

事例数： 1 ケース

参加者数： 9名

〔 事例提供者 1 名、助言者 6 名、包括職員 2 名 〕

ストーマ設置によるストレスや不安があり、活動性が低下している 75 歳男性

〈目標〉1日:自宅内の段差や座布団につまずかないように気を付けて
転倒しないように生活する。

1年:今の体の状態を維持する。

利用サービス:介護予防訪問看護、通所型サービス

《前回会議での支援策》

支援方針

- ・ストーマに対するストレスや不安なく在宅生活を続ける。
- ・義歯を作る事を勧める。
- ・デイサービス利用や友人との交流を続け、活動性を高める。

助言内容

- ①ストーマによるストレスや不安については、サポートを受け気になっていることを解消する。
- ②徐々に活動性が増えているので、デイサービス利用などはこのまま続けることが望ましい。
- ③義歯を作る事を勧める。
- ④口腔ケアとして食前食後にブクブクうがいをする。
- ⑤立ち座りを鍛える運動（スクワット 10 回程度）を行う。
- ⑥不通過予防とガスの発生にはよく噛み、水分を十分に摂取する。

《支援結果・状況》

- ①達成:ストーマによるトラブルもなく、支援を受けながら生活できている。
- ②達成:デイサービスの利用継続はできている。
- ③未達成:本人は生活に支障がないため受診していない。
- ④達成:歯磨きの回数は以前より増え、歯磨きができないときはうがいをしている。
- ⑤未達成:デイサービスで運動をしているため、自宅では運動していない。
- ⑥達成:水分を多く摂ることを心がけるなど、ガスの発生を抑えている。